



明るく家庭、楽しい社会、美しい熊本は私たちの日頃の願いです。

花いっぱい運動は、その願いを果す一つとして家庭も、村も街も花で埋めようという運動です。

特に、今年に待望の国体が県内各地で開かれ、全国から多数のお客様を迎えますのでそのお客様にも美しい熊本への印象をお土産にしたいものです。

そこで、ここに花いっぱい運動のためのしおりをつくってみました。どうぞご利用下さい。

★花作りのポイント

1 花壇の位置

- ・日光がよく当たる位置を選ぶこと。
- ・雨水のたまらない、水はけのよいところを選ぶこと。

2 花壇のデザイン（凡例参照）

・デザインを簡単にすること。

・花壇の大きさは、小じんまりと小さく作り、大花壇を作るには、小花壇を調和よく配置すること。

・色彩の配合は、反対色を用い近似色をさけること。

3 植える草花の選定

・花の種類は、一花壇に対し一種類の花で、花色を違えるのが、最も効果的である。多くとも三種類までを限度とする。

・種子や苗は、色別に購入すること。

4 花壇造りの実際

（苗造り）

・苗床に種類別、色別に苗を育てておくこと。

・根切り虫等の害虫のいる所は、種子を播く前にアルドリン（土壌昆虫の特効薬）を土にまいておくこと。

・肥料は、堆肥や油粕を与えておくこと。

（花壇造り）

・花壇の形を作るには、杭（竹）と細を用いて中心より線を描くこと。

・根切虫を防ぐため土にアルドリンをまいておくこと。

・花壇の肥料は、堆肥や鶏糞がよい。

・やせた土地には、一坪当り油粕400g（500g）（約五合〜一升）を加えておくこと。

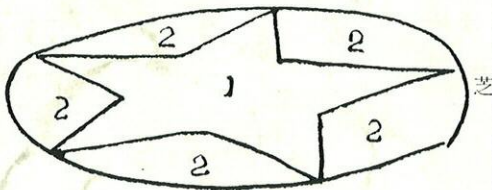
5 植付後の管理

・花が終った茎は、必ず茎のところが

- ・土が酸性の処は、石灰を一坪当り200g（約三合〜五合）まくこと
- ・パンジーやデージー等は、二十種四方に植えるので、一坪当り八十株の苗を用意すること。
- ・苗はなるべく土を落さぬようにして長く日光にさらさない様に植えること。
- ・植付けたら充分に水をやつておくこと。

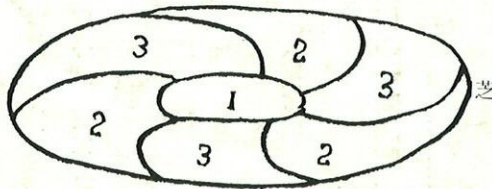
★花壇のデザイン

（例1） 一種二色花壇



- A例 ①デージー白 ②デージー赤
B例 ①パンジー白 ②パンジー黄

（例2） 円形花壇



- A例 ①アネモネ ②デージー白 ③デージー赤
B例 ①アネモネ ②パンジー白 ③パンジー黄

- ・らつみとること。実をつけると花数が減り、花期は極端に短くなる。
- ・肥料は元肥が主であるので、あまり与へないが、一ヶ月に一回位薄い油粕の腐液等を与える、濃すぎると根を腐らすので注意すること。
- ・あぶら虫や病気には、花色を変えない薬を用いる。
- （イ）害虫には、マラソン又は除虫菊剤がよい。
- （ロ）病気には、ホルドー又はウスブルンがよい。

（県新生活運動協議会）